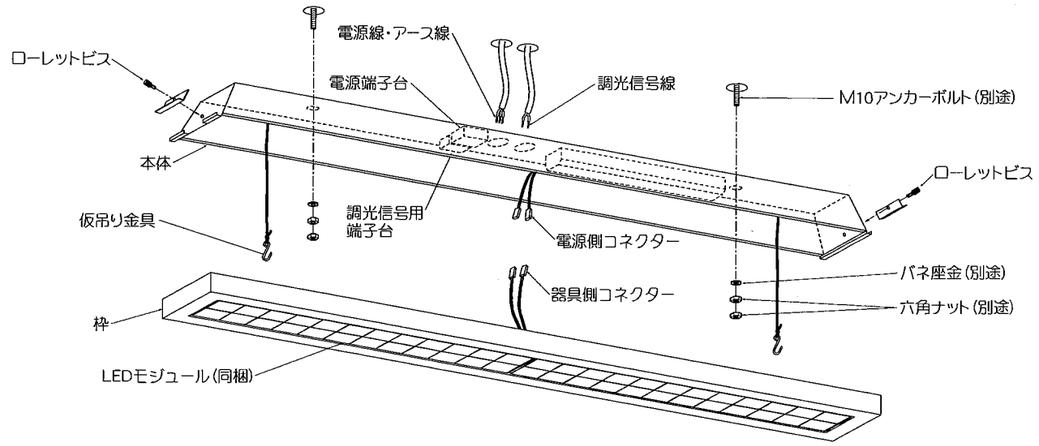
LEDZ

[型番] ERK8065WA

◆各部の名称

この図は一部省略抽象化した共通部品図です



◆仕様

型　番	ランプ色	配光	定格電圧	周波数	入力電圧	入力電流	消費電力
ERK8065WA	ナチュラルホワイトタイプ (グリッドモジュール)	ベース	AC100V-242V	50Hz/60Hz	100V	638mA	62.1W
					200V	328mA	60.8W
					242V	283mA	60.7W

⚠ 3年以上お使いいただいた器具は、安全のため器具・コードなど1年ごとに点検をし、異常があれば交換してください。

◆適合LEDモジュール

型　番	ランプ型番	灯数	配光	ランプ色温度	寸　法
ERK8065WA	GHP24M-T840B	2	ベース	4000K	580mmタイプ

⚠ LEDモジュール交換の時は、必ず電源を切ってください。感電の原因になります。

◆適合信号制御器(別売)の接続台数

型　番	適合信号制御器	定格電圧	接続台数(※)	調光範囲
ERK8065WA	X-239W・X-239WA	AC100V	6台(50台)	10～100% 連続調光
	X-240W・X-240WA	AC200V	3台(50台)	
		AC242V	2台(50台)	

※(　)内は信号供給のみの接続台数です。

・自動調光制御システム(レッズ・セーバー)をご使用の場合は、RX-121WまたはRX-122Wの取扱説明書を参照ください。

◆LED光源について

・LED素子は白熱灯・蛍光灯などの一般光源に比べバラツキがあるため発光色、明るさが異なる場合がありますのでご了承ください。

■清掃方法について

⚠注意　必ず電源を切ってください。感電の原因となります。

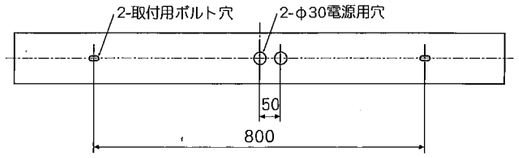
●中性洗剤をつけ、よく絞ってから拭きとり、乾いた布で仕上げてください。
●シンナーやベンジンなど揮発性のもので拭いたり、殺虫剤をかけたりしないでください。

●電源工事が必要な場合は、電気工事店に依頼してください。

アフターサービスおよび転居や他の地域へのご贈答の場合は、お買上げの販売店か、最寄営業所へお問い合わせください。

ERK8065WA-T 2版

◆取付寸法



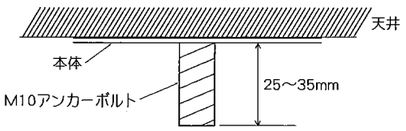
◆取付方法

1．安全確保の為、電源ブレーカー及び、電源スイッチを遮断してください。

⚠ 感電の原因となります。

2．器具重量に耐える様、天井の取付面の強度を確保してください。

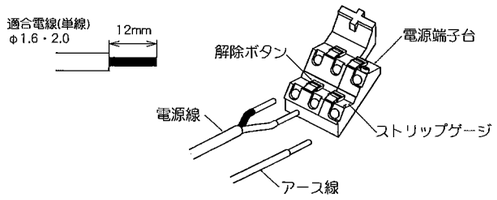
●指定の位置にアンカーボルトを施工してください。
●取付用M10アンカーボルトは別途ご用意ください。
●バネ座金、六角ナット２本は別途ご用意ください。
●本体の取付穴にアンカーボルトを通し、バネ座金、六角ナットで天井面に確実に取付けてください。
※本体を取付ける時、六角ナットを締めすぎますと本体が変形する場合がありますので、本体が天井面になじんだところで締付けをおやめください。



⚠ 取付部の強度が不十分な場合、器具落下の原因となります。

3．電源線を電源端子台に接続してください。

●電源はストリップゲージ長12mmにむいてください。
●電線を奥までまっすぐ確実に差し込んでください。
●送り容量15A以下。
●D種(第3種)接地工事を行ってください。必ず端子台のアースを使用してください。

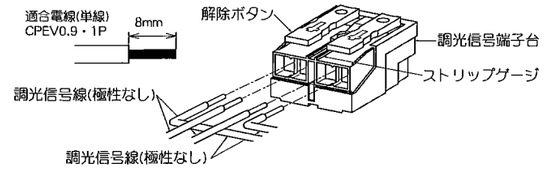


⚠ 接続不完全や容量オーバーの場合、火災・感電・器具故障の原因となります。

⚠ 電気設備技術基準で定められたD種接地工事を必ず行ってください。火災・感電の原因となります。

4．信号制御器(別売)で調光する場合は、調光信号線(推奨信号線 CPEV0.9・1P)を調光信号用端子台に接続してください。

●調光信号線はストリップゲージ長8mmにむいてください。
●調光信号線を奥までまっすぐ確実に差し込んでください。
●使用する信号制御器の最大接続台数以下で接続してください。



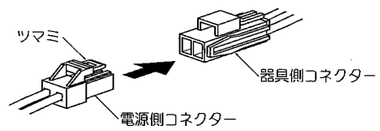
●信号制御器は当社指定の商品をご使用ください。
●信号制御器に付属の取扱説明書をご参照ください。

⚠ 接続不完全や容量オーバーの場合、火災・感電・器具故障の原因となります。

5．枠を本体に取付けます。
付属している仮吊り金具を枠の取付け穴に通し、外れないようにＳカンを工具でかしめてください。

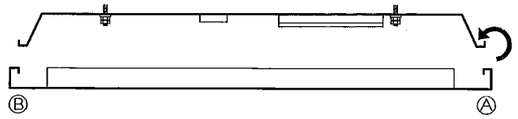
⚠ 取付けが不完全な場合、器具落下の原因となります。

6．器具側コネクターに電源側コネクターを確実に差し込み接続してください。

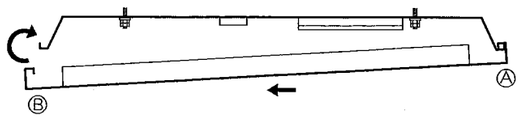


⚠ 接続不完全の場合、火災・漏電の原因となります。

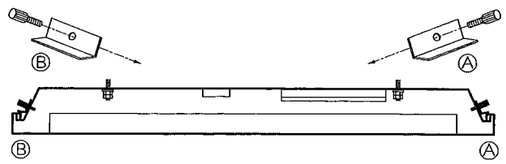
7．Ⓐの部分を本体に引っ掛けます。



8．枠をずらしてⒷの部分を引っ掛けます。



9．ⒶⒷ両側にガタつき防止の金具を付け、両側をローレットビスで締めます。



⚠ 取付部の強度が不十分な場合、器具落下の原因となります。

10. 取付け後、点灯しない場合は、コネクターが外れていないか確認ください。コネクターが外れている場合は、器具側コネクターに電源側コネクターを確実に差し込み接続してください。